



## 原油先物下落、サウジ産油量が近く1000万バレル超との報道で

[ニューヨーク 4日 ロイター] - 米国時間の原油先物は序盤の上昇から一転下げに転じた。サウジアラビアの産油量が近く新型コロナウイルスのパンデミック（世界的大流行）発生以来初めて日量1000万バレルを超えるとの報道を受けた。

これに先立ち、石油輸出国機構（OPEC）とロシアなどの非加盟産油国で構成する「OPECプラス」は4日に開いた閣僚級会合で、協調減産幅を毎月日量40万バレルずつ縮小する現行の計画を12月も維持することで合意した。

清算値は、北海ブレント原油先物が1.45ドル（1.8%）安の1バレル=80.54ドル。序盤には84.49ドルまで上昇していた。

米WTI原油先物は2.05ドル（2.5%）安の78.81ドル。この日の高値は83.42ドルだった。

2日終値からはブレント先物で約5%、WTIで約6%下落している。



ENEOS・出光興産の仕切り改定 (水曜通知 単位:円/ℓ)

	油種	ENEOS	出光興産
10月第3週 (14~20日)	ガソリン	2.5	3.0
	軽油	2.5	3.0
	灯油	2.5	3.0
	一般A重油	2.5	
	LSA重油	2.5	3.0
10月第4週 (21~27日)	ガソリン	3.0	2.5
	軽油	3.0	2.5
	灯油	3.0	2.5
	一般A重油	3.0	
	LSA重油	3.0	2.5
10月第5週 (10月28日~ 11月3日)	ガソリン	0.5	0.5
	軽油	0.5	-0.5
	灯油	0.5	0.5
	一般A重油	0.5	
	LSA重油	0.5	0.5
11月第1週 (4~10日)	ガソリン	▲1.5	▲1.5
	軽油	▲1.5	▲1.5
	灯油	▲1.5	▲1.5
	一般A重油	▲1.5	
	LSA重油	▲1.5	▲1.5

## サウジ調整金の下落効く

大手元売の仕切り改定は、久しぶりに下落に転じた。ENEOS、出光興産の4日以降の改定幅はいずれも前週比で1円50銭の下げ。値下げ改定は8月最終週以来10週ぶり。ただ今回の下落の大部分は、10月分のサウジアラビア調整金の変動によるとみられる。原油コスト自体の下落は小さく、先安が今後も継続するかどうかは不透明だ。別表参照。

2元売社  
10週ぶり値下げ

# ENEOS・出光 1円50銭

週ぶり。算定期間中、原油相場が弱含むとともに為替が円高に転じたことに加え、サウジ

### 出光

アラビア原油の調整金引き下げがコストを押し下げたとみられる。

出光興産は、4日から10日出荷分に適用する石油製品仕切価格を10週ぶりに引き下げ

る。系列特約販売店によると、引き下げ幅はガソリン、灯油、軽油、A重油の4油種ともに前週比で1円50銭という。

サウジアラビア調整金に加えて、原油コストも当週は小幅ながら下落に転じた。出光が前回、仕切価格を引き下げたのは8月26日。当時は世界的な新型コロナウイルスの感染再拡大を懸念して、原油価格が軟化した。

### ENEOS

ENEOSは、4日から10日に適用するガソリン、中間留分「基準価格」の改定方針を決め、系列特約店に通知した。特約店筋によるとガソリン、灯油、軽油、一般A重油、LSA(低硫黄)A重油の全油種が前週比で1円50銭の値下げだった。価格引き下げは5油種とも8月26日〜9月1日(2円)以来、10



## 10月の世界の食料価格、3カ月連続で上昇 FAO調べ

【ウィーン=細川倫太郎】国連食糧農業機関（FAO）が4日発表した10月の世界の食料価格指数(2014~16年=100)は、前月比4.0ポイント高い133.2と3カ月連続で上昇した。2011年7月以来10年3カ月ぶりの高水準で、小麦や植物油を中心に値上がりしている。

同指数は肉類や穀物など主要5品目の国際取引価格から算出され、投資家や企業からの注目度が高い。10月は前年同月比では31.8ポイント上昇した。食料価格の上昇は特に主食を輸入に頼る途上国への打撃が大きく、貧困に拍車がかかる恐れがある。

FAOによると、小麦はカナダ、ロシア、米国での収穫減少で需給が逼迫し、価格の上昇圧力が高まっている。大豆油や菜種油の旺盛な需要を背景に、植物油の価格は過去最高を更新した。パーム油は主要産地であるマレーシアで外国人労働者が不足し、供給が細る懸念が強まっている。





## エネルギー R D 給油拠点開設 海老名皮切り名阪視野

トラック  
向け国内初

伊藤忠エネクスと伊藤忠商事、東部ネットワークは日本で初めて、商用車トラック向けのリニューアブルエネルギー（RD）給油拠点を運用を開始した。国内陸上輸送分野の再生可能資源由来の燃料供給ビジネスに本格参入し、循環型経済と脱炭素社会の実現を

目指す。

RDの給油拠点（東部ネットワーク海老名営業所）神奈川県海老名市）の常設は国内で初めての取り組みで、同営業所の燃料油の地下タンクを利用する。RDの利用を通じて荷主企業および陸上輸送企業へのGHG（温暖化ガス）排出削減を可能にする。

タンクの容量は10立方メートル。需要に合わせて拡大する方針で、今年度中には拠点を1カ所増やす考えだ。また将来的に名阪エリアでも拠点を視野に入れている。

伊藤忠商事は、世界最大級のリニューアブル燃料メーカーのNESTE（本社フィンランド）グループとの間でRDの日本向け輸入契約を締結した。エネクスは、同燃料の国内の輸送および給油に係る一連のサプライチェーンの構築を担う。RDは食品競合の多い廃食油や動物油などを原料として製造され、ライフサイクルアセスメントベースで見るとGHG排出量で石油由来の軽油比約90%削減を実現する。主に輸送用トラック・バスなどで使用され「ドロ

ップイン」燃料として、既存の車両や給油関連施設をそのまま利用開始することが可能。欧米を中心に流通実績をもつ。これまでファミリーマートで日本初となるコンビニ配送車両、またコンテナドレーシ輸送車両など利用が増え、今後の陸上輸送分野での利用拡大が期待されている。



## 高バイオマス インキを開発

東洋インキ

東洋インキ㈱（本社・東京都中央区、柳正人社長）は、シール・ラベル用途に適したバイオマス度20%の高バイオマスLED硬化型フレキシオンキを開発した。

地球温暖化や海洋プラスチック問題などさまざまな環境問題への対応が求められる中、同社は環境に配慮した製品開発に取り組んでいる。植物由来

の資源を原料の一部に使用するバイオマスインキにおいてもラインナップの拡充を進めており、2020年にはバイオマス度10%のUV硬化型フレキシオンキを発売。

そして今回、同社が開発した高バイオマスLED硬化型フレキシオンキは、市場のさらなる環境対応ニーズに応え、印刷用インキでは数少ないバイオマス度20%を実現。通常、バイオマス度を上げると硬化性および物性が低下するが、この製品

は処方化技術によりUVランプよりもさらに省エネルギーなLEDランプでも硬化し、かつ従来品同等の物性を発揮する。また、一部バイオマス原料には廃棄される廃植物油を再利用したものを採用しており、循環型社会に貢献している。

高バイオマスとLED硬化の組み合わせにより、従来のUVフレキシオンキと比較し、原料調達からインキ燃焼時までのCO<sub>2</sub>排出量を約18%削減することができる。

## 2021年9月 紙・板紙需給速報

9月	品名	生産		出荷計				在庫		(参考)輸入*				
		前年比	2021年	前年比	国内出荷		前年比	前月比増減	前年比	2021年				
					前年比	19年比								
	紙・板紙計	2,005	+3.8	2,002	+3.4	1,840	+3.6	▲7.8	162	+1.2	2,037	+2	89	+30.4
	紙計	996	+6.3	997	+6.9	912	+3.1	▲13.2	85	+47.6	1,265	▲11	66	+33.2
	新聞用紙	165	▲2.0	161	▲6.1	161	▲6.1	▲38.9			214	+4	0	+6.0
	印刷・情報用紙	541	+7.1	549	+7.7	491	+3.2	▲13.8	59	+70.9	787	▲9	61	+30.5
	非塗工紙	145	+12.7	141	+5.3	131	+3.1	▲11.1	11	+62.8	249	+3	4	+11.3
	塗工紙	301	+7.4	311	+10.4	265	+3.5	▲17.1	46	+80.9	396	▲10	22	+82.9
	情報用紙	96	▲1.0	97	+3.3	96	+2.7	▲18.2	2	+42.8	142	▲2	35	+7.9
	包装用紙	62	+10.3	66	+8.4	59	+17.3	▲7.9	13	▲17.0	92	▲4	1	+82.9
	衛生用紙	151	▲0.9	156	+6.2	155	+6.2	▲7.3	0	▲41.6	83	▲5	3	+89.4
	板紙計	1,018	+1.4	1,005	+1.1	928	+4.1	▲0.8	78	▲24.6	772	+13	23	+23.0
	段ボール原紙	833	▲1.3	823	▲1.1	751	+2.7	▲0.0	72	▲28.5	544	+10	2	▲25.7
	白板紙	121	+14.9	119	+11.8	113	+9.0	▲3.0	5	+151.5	142	+2	21	+38.5
	グラフィック用紙	708	+4.9	710	+4.3	652	+0.7	▲15.6	59	+70.9	1,001	▲4	81	+30.4
	パッケージング用紙	1,143	+3.7	1,136	+2.6	1,033	+5.2	▲7.6	104	▲17.7	953	+11	25	+25.3
<b>&lt;累計&gt;</b>														
(参考)	紙・板紙計	17,850	+5.5	17,711	+4.4	16,225	+2.9	▲8.6	1,407	+24.8	2,037	+2	711	+2.2
	紙計	8,753	+4.9	8,653	+2.4	7,981	+1.0	▲15.0	671	+22.1	1,265	▲11	525	+6.1
	新聞用紙	1,516	▲1.9	1,487	▲4.8	1,487	▲4.8	▲17.6			214	+4	1	+13.0
	印刷・情報用紙	4,737	+9.0	4,651	+4.9	4,228	+3.3	▲18.3	423	+24.2	787	▲9	483	+6.0
	非塗工紙	1,276	+9.0	1,249	+4.5	1,180	+3.2	▲13.3	82	+27.8	249	+3	24	+7.2
	塗工紙	2,582	+10.0	2,526	+7.0	2,207	+4.9	▲21.4	319	+14.0	396	▲10	170	+21.5
	情報用紙	979	+3.1	876	▲0.2	854	▲0.5	▲10.4	22	+14.4	142	▲2	295	▲0.2
	包装用紙	609	+7.9	623	+8.2	494	+6.8	▲8.0	139	+4.3	92	▲4	6	+19.3
	衛生用紙	1,336	▲3.2	1,325	▲2.0	1,324	▲2.0	▲3.6	1	+23.7	83	▲5	19	+3.6
	板紙計	9,105	+6.1	9,059	+6.5	8,244	+4.5	▲1.5	815	+27.2	772	+13	186	▲7.4
	段ボール原紙	7,533	+5.6	7,487	+6.2	6,721	+4.5	▲0.9	766	+24.1	544	+10	22	▲32.1
	白板紙	1,018	+9.1	1,025	+8.8	977	+6.3	▲6.3	48	+111.5	142	+2	159	▲1.9
	グラフィック用紙	6,253	+8.1	6,137	+2.4	5,715	+1.1	▲8.1	423	+24.2	1,001	▲4	489	+5.9
	パッケージング用紙	10,276	+6.4	10,249	+5.6	9,186	+4.0	▲2.3	1,033	+25.1	953	+11	263	▲6.0

在庫の前月比増減は数量(千トン)表示。輸入\*は8月

日本製紙連合会の2021年9月の紙・板紙需給速報によると、国内出荷は前年同月比3・6%増で、6カ月連続のプラスとなった。グラフィック用紙は0・7%増で、6カ月連続のプラス。パッケージング用紙も5・2%増で7カ月連続のプラスである。主要品種は新聞用紙を除いてプラス。

紙・板紙の輸出は前年同月比1・2%増で21カ月連続のプラス。グラフィック用紙は70・9%増の6カ月連続プラス。パッケージング用紙は17・3%増で7カ月連続のプラス。

製紙連合会  
**6カ月連続プラス**  
9月の紙・板紙国内出荷は前年同月比3・2%増となり、6カ月連続の連続増加。グラフィック用紙は4000ト減で、用紙ともプラスである。

比2000ト増で3カ月増となり、6カ月連続の連続増加。グラフィック用紙は4000ト減で、用紙ともプラスである。輸出は70・9%増で6カ月連続プラス。包装用紙の国内出荷は前年同月比17・3%増で、6カ月連続プラスとなった。

7%減で2カ月連続のマイナスだ。グラフィック用紙は、塗工紙を中心にアジア向けが増加。パッケージング用紙は、段ボール原紙を中心に白板紙が増加。

主要品種では、新聞用紙の国内出荷が前年同月比6・1%減で4カ月連続のマイナス。印刷・情報用紙の国内出荷は前年同月比3・2%増で、6カ月連続のプラスとなった。

## 共同印刷 腰部への負担が軽減 「装着型ロボット」効果

共同印刷(株) (本社・東京都文京区) は、食

品パッケージの印刷などを行う同社守谷工場 (茨城県守谷市) に、

身体への負担軽減や労働安全環境の改善に効果がある。

ATOUN MOD に、負担がかりやす

い腰を重点的にサポート

「ATOUN MOD ELY」を導入した。同製品は、作業者の印刷現場での腰の曲げ伸ばし、連続する中腰姿勢による腰部への負担などを軽減する「装着型ロボット」。



作業者の腰の負担を軽減する「パワードウェア」

トし、高度なセンシングと強力なモーターにより、パワフルかつスムーズなアシストを実現する。装着約30秒、脱着は約3秒。スイッチをONにするだけで、すぐに使用できる。

守谷工場では、積み重ねられた印刷物は、重量が15〜20kgのものを中心に、多い日には出荷作業が1日中続く。作業者が棚から出して、納品先ごとにパレットに仕分けする作業は中腰姿勢が多く、パレットの四方向から積むため、歩行や半身の姿勢での持ち上げ下げがある。忙しい時には休憩までの約2時間半、続けて作業することもあるという。

腰痛経験のある作業者のひとは、「アシストのボリューム調整ができること、電源のON/OFF機能があるのは電動ならではの、使いやすい。安心して作業に取り組める」と高く評価する。